

**重要 必ずご確認ください**

令和4年度 福井県介護支援専門員専門研修・更新研修課程Ⅱ【事例提出について】

(1) 事例提出の目的

- 課程Ⅱは事例を用いた演習中心の研修です。受講者が事例を持ち寄り、事例研究をしていきます（事例検討ではありません）。
- 事例研究は、「個々の事例から自己の実践を振り返り、類似した事例や状況に対応する力」や、「個別の課題をもとに地域の課題を抽出し解決に向けた取組につなげる力」の習得を主な目的とします。
- 一つひとつの事例を掘り下げることが目的ではありません。事例はテーマに沿う部分をポイントを押さえて簡潔に記載してください。（そのことにより、研修当日の報告もスムーズになります。）
- 事例は、「課題が残った事例」や「うまくいった事例」などから選んでください。

(2) 事例提出の方法

- 受講決定後、以下の7類型の事例を「事例概要」（様式①）に記入し、併せて事例説明時の手元資料として資料②～⑨を適宜ご準備ください。

※7類型の事例

- ・ **リハビリテーション及び福祉用具活用に関する事例（科目【2】）**  
〈キーワード〉 筋力低下改善、日常運動の強化、リハビリテーション実施、住宅改修、福祉用具利用、外出支援、外出先の開拓、外出時の休息やトイレ、機能強化ロボット使用 など
- ・ **看取り等における看護サービスの活用に関する事例（科目【3】）**  
〈キーワード〉 痛みの改善、生活機能低下、緩和医療、生きがいの実現、死の受容に関すること、葬儀・遺品に関する相談、看護サービス利用、本人・家族の思いや意向、本人や家族の不安や負担、看取り（に近い）時期における医療との連携、急な体調不良への対応 など
- ・ **認知症に関する事例（科目【4】）**  
〈キーワード〉 初期診断、地域ネットワーク構築、認知症の理解、行動障害の取組み、環境変化における対応、認知症治療、医療との連携、本人の能力や可能性の活用 など
- ・ **入退院時等における医療との連携に関する事例（科目【5】）**  
〈キーワード〉 医療チーム・介護チームへの伝達・説明、難病、医療の活用、入院における介護負担、入退院を繰り返す事例、高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症 など
- ・ **家族への支援の視点が必要な事例（科目【6】）**  
〈キーワード〉 家族に疾患がある場合の対応、利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応、家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応、家族間の関係性への対応、複合的な課題のある家族 など
- ・ **社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例（科目【7】）**  
〈キーワード〉 地域支援、社会資源の特徴と対応、社会資源との連携、社会資源介入と対応、地域特性と社会資源の関係、生活保護制度、生活困窮のケース、成年後見制度利用、虐待、インフォーマルサービスの活用、障害者サービス利用、ボランティアの活用 など
- ・ **状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービスや施設サービス等）の活用に関する事例（科目【8】）**  
〈キーワード〉 状態に応じた個別対応、住み替えの対応、生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応、施設サービスの対応、地域密着サービスの対応、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護活用 など

	資料名	様式等
提出物	事例概要	様式① 本会ホームページよりダウンロードしてください。
手元 補助 資料	②基本情報(フェイスシート)	事例検討に必要なと思われるものを適宜ご準備ください。 所属事業所で使用しているもので結構です。
	③アセスメントシート	
	④サービス計画書(第1表)	
	⑤サービス計画書(第2表)	
	⑥週間サービス計画表(第3表)※24時間シートでも可	
	⑦サービス担当者会議の要点	
	⑧介護支援経過	
	⑨その他事例の理解に必要な資料	

- 作成した7類型7枚の「事例概要」を、**事例提出締切日(各コース初日の5日前)までに事務局にEメール**でご提出ください。  
※提出がない場合は、受講決定後であっても研修を受講することができません。
- 事例をEメールで提出する際は、**必ず件名を「課程Ⅱ(受講番号)(氏名)事例提出」**としてください。  
また、7事例を7ページからなる1つのWordファイル(PDFファイルも可)で送信してください。
- 事例作成に際しては、ご利用者の了承を得る等、所属事業所で定められた条件のもと、**個人情報**はすべて消す等の処理をお願いします。**事業所名も不要**です。

例) 福井市で生まれ鯖江市に… → A市で生まれB市に ○市・■市  
ふくいデイサービスセンター → Cデイサービスセンター、××デイサービスセンター

- 7類型の要素が複合的に含まれる事例であっても、**それぞれの類型で1枚ずつ「事例概要」**を作成してください。  
※同事例でも類型が変われば記載内容(押さえるポイント)も変わるはずです。
- 受講者のご経験によっては提出が難しい類型があるかもしれませんが、必ずしもぴったり一致していなくても結構ですので、下記のキーワード等を参考にして幅広くとらえていただき、ご提出をお願いします。

### (3) 研修時の事例共有について

- オンライン研修時の事例発表については、各受講者がZoomの画面共有機能を使い、画面に事例を表示して行います。  
メールで送信した「事例概要」のデータ(WordでもPDFでも可)は必ず保存しておいてください。
- 具体的な操作方法は、「Zoomの操作マニュアル」を送信します。
- 実際の操作については、動作確認日を設け、体験いただく予定です。

提出先(事務局)  
福井県社会福祉協議会 人材研修課  
Eメール manp@f-shakyo.or.jp  
TEL0776-21-2294 / FAX0776-24-4187

<事例概要>

(受講番号 氏名 )

どの種類の事例ですか。当てはまる類型いずれか1つだけに○をつけてください。	
<input type="checkbox"/>	リハビリテーション及び福祉用具活用に関する事例(科目【2】)
<input type="checkbox"/>	看取り等における看護サービスの活用に関する事例(科目【3】)
<input type="checkbox"/>	認知症に関する事例(科目【4】)
<input type="checkbox"/>	入退院時等における医療との連携に関する事例(科目【5】)
<input type="checkbox"/>	家族への支援の視点が必要な事例(科目【6】)
<input type="checkbox"/>	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例(科目【7】)
<input type="checkbox"/>	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービスや施設サービス等)の活用に関する事例(科目【8】)

性別		年齢		要介護状態区分	
事例のタイトル					
事例提出の理由					
〔主訴〕			〔生活歴〕		
〔事例の概要〕 ※今回のテーマに沿った内容をふくむこと					
望む暮らし(本人らしさ)、生活の希望・要望					
本人：					
家族(続柄： )：					